

# 発注企業動向調査結果

-2023.12-

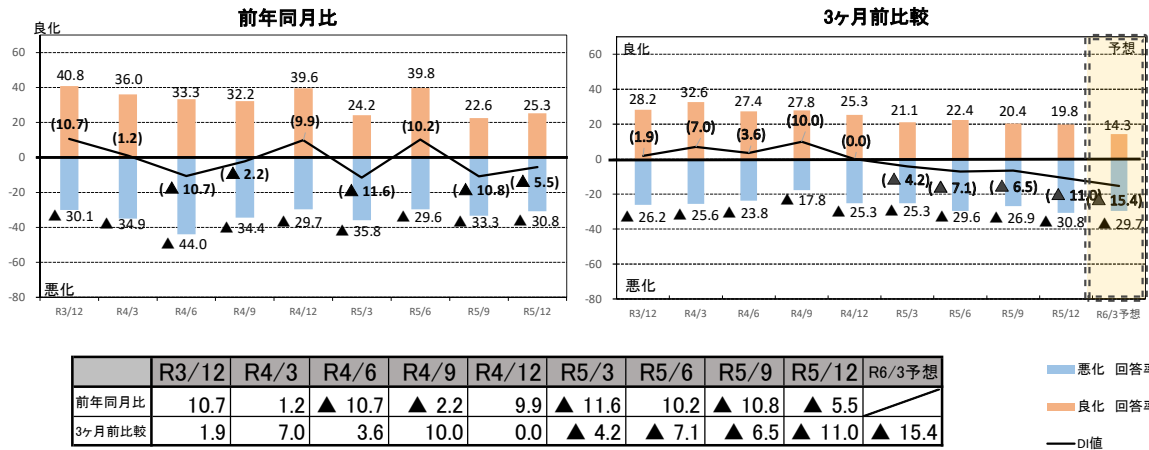
- 調査時点 令和5年12月調査(令和5年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 91社(回答率:60.67%)

## <業種内訳>

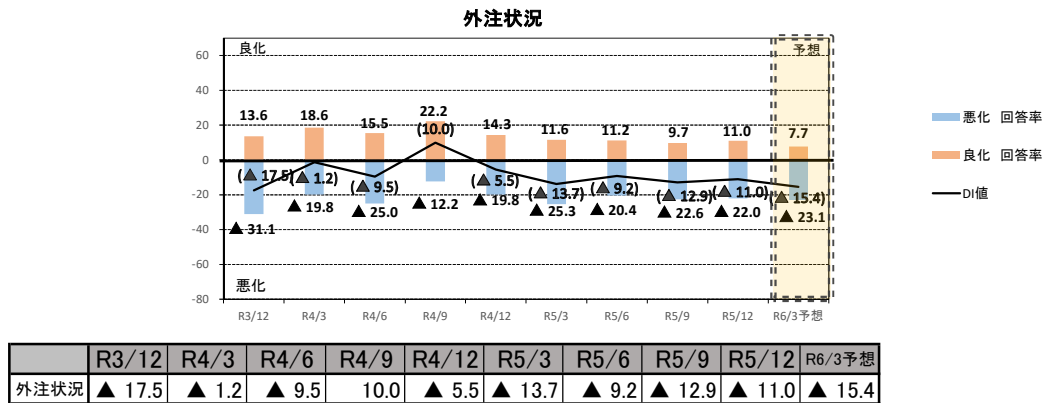
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	11社
金属製品	8社
一般機械器具	17社
電気機器	20社
輸送用機器	19社
精密機器	4社
縫製	4社
計	91社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

## ●生産高



## ●外注状況



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲5.5で前回の▲10.8から5.3ポイント増となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲11.0で前回の▲6.5から4.5ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲11.0で前回の▲12.9から1.9ポイント増となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲15.4、外注状況が▲15.4という予想になった。
- ・その他自由意見として、

- ・少し数量が落ちてきている。人材不足が大きな課題である。
- ・下請工場が減少しており、生産に影響あり。
- ・客先在庫過多が続いており、受注減。材料価格、人件費等の価格転嫁が一部できていない(認めてもらえない)。
- ・顧客の在庫調整で受注が減っている。
- ・光学業界は生産高が落ち着いてきている。
- ・はっきりした見通しがたっていない。
- ・前年同月比、増加しているが、品目によっては減少しているものもあり、注視している。
- ・電子部品の入手性向上により受注増。
- ・製造業は最悪の状態で、倒産に追い込まれる中小企業が多くなる。企業努力では持たない。

という意見が寄せられた。